

## 自己評価公表シート

### 1. 幼稚園の教育目標

- (1) 身体も心も健康で明るい子供 (体) つよい子
- (2) 豊かな心と感性をもった子供 (徳) すなおでやさしい子
- (3) 自分で考えて行動できる子供 (知) かんがえる子

### 2. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 明るく温かで健康的な教育環境を整え、温かな眼差しによる保育者の見守りによって子供たちが安心して、自信をもって自己を発揮していけるようにする。
  - ① 四季折々の窓面を工夫し、幼稚園の楽しさを伝える。
  - ② おもちゃを使いやすく配置し、園児が楽しく仲良く遊べるようにする。
  - ③ 朝夕の清掃と消毒を徹底し、清潔で健康的な環境を整える。
- (2) 広い園庭を活かし、のびのびと遊びながら四季折々の草花や木の実や葉、昆虫などに触れ、豊かな心と感性が育まれるようにする。
  - ① 園庭の遊具には「お休みカード」を活用し、保育者と園児の会話の中で規則を知り、安全に楽しく遊べるようにする。
  - ② 園庭の草花から色水をつくったり、種を取ったり、昆虫を見つけたりして、自然に触れあって遊べるようにする。
  - ③ 毎日のお弁当によって喜びと感謝の気持ちを育てると同時に、畑で作物を育て、収穫の喜びと食物への感謝の気持ちを育てる。
- (3) 小学校就学を見通したカリキュラムにより、季節や行事に合わせて工夫した制作を通して、自分で考えて作ったり、友達と協力して作ったりすることが出来るようにする。
  - ① 担任教諭と共に、季節や行事に合わせた歌を歌い、制作をし情操を豊かにしていく。
  - ② 専門の講師による体育あそびによって、楽しく遊びながら個別・学齢に応じた体づくりを図る。
  - ③ ネイティブの専門講師による英語あそびでは、楽しみながら異文化・異言語に触れる。
- (4) 年間カリキュラムにある季節に応じた諸行事を実施するにあたり、新しい生活様式を工夫し、学年別で実施するなど保護者の理解・協力も得て、園児の命を守り安全に実施できるようにする。
  - ① 園外保育では、感染予防を徹底し、安全に実施できる行事を精選する。
  - ② 運動会では、力いっぱい走ったり、おゆうぎをしたりすることで、体づくりと協調性・頑張る力を伸ばす。

- ③ おゆうぎ会、ひなまつり会、七夕、豆まき会、誕生日会などの行事では、意味・意義を教えると同時に発達段階に応じた表現力を高め情操教育につなげる。
- (5) 家庭・地域と連携した、幼児教育の支援を推進する。
- ①保護者の子育て支援のための預かり保育では、家庭的なくつろいだ雰囲気の中で、安全に子供たちを見守り過ごす。
- ②近隣小学校と連携し、小学校就学を見通した保護者支援を実施する。保幼小連絡協議会への参加も積極的に実施する。
- ③すこやか、療育担当と連携し、保護者承諾のもと、一人一人の園児にあった保育を家庭と協力して進める。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み
- ①毎朝の検温を軸とした、保護者と共同した健康観察のもと、傷病状況にいち早く察知し、各家庭かかりつけ医療機関・保健所と連携する。
- ②幼稚園での感染対策について、定期的に保護者に周知し、保護者と幼稚園が常に連携して感染防止を図る。
- ③全教職員で、保育室・玩具・遊具を清潔に保つため、清掃・消毒を徹底し、さらにチェックシートによって管理をする。
- (7) 教職員の専門性の向上を図る。
- ①中野区幼稚園連合会主催の研修会に参加し、その研修内容を全教職員に還元する。
- ②カリキュラム会議を毎週実施し、保育の内容などを相互に連絡し合い、幼稚園教諭としてのスキルアップにつなげる。
- ③ 長期休業を活用して、各自研修を行い、その内容を長期休業後に発表し、互いの研修内容を知る機会とする。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1)	①	B 保育室はきれいに清掃整備され、壁面・窓面、園内の窓面は季節や行事に合わせて定期的に更新されている。
	②	B 保育室には子供が使いやすいようにおもちゃが配置され、のびのびと遊べるようにされている。また、園庭の砂場は天候に合わせて玩具が準備されている。
	③	A 全教職員が当番制によって清掃、使用前後の消毒も徹底されている。さらに、清掃・消毒後はチェックリストによって管理されている。

(2)	①	B	お休みカードのルールは年少の園児にも理解されており、安全に楽しく、規則を守って遊んでいる。
	②	A	四季折々の草花を使った遊び（色水作り、落ち葉拾い）を楽しみ、昆虫を見つけては虫眼鏡で観察するなどの姿が日常的に見られる。
	③	B	お弁当は感染防止のために黙食である。食後にマスク着用すると「美味しかった」「全部食べた」などの喜びの感想が出ている。畑の作物ジャガイモは、収穫後こぶき芋にして、お芋の素朴な味のおいしさを味わった。
(3)	①	A	保育室では季節の歌や行事の歌を、マスクを着用しているが無理のない声で歌っている。制作には丁寧に取り組み、友達と協力して仕上げる姿が見られる。
	②	A	体育あそびはどの学年の子供も楽しみにしている。講師の話をしっかり聞き、存分に体を動かしてあそんでいる様子がある。
	③	A	英語講師の言葉を楽しんで聞き取り、リズムカルに動いて楽しむ姿がある。活動の後には、聞き覚えた英単語で友達と楽しむ様子がある。
(4)	①	A	行事に合わせて計画的に準備をしている。一方で新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出によって、中止とする行事は、保護者に周知徹底を図っている。
	②	B	運動会の準備や練習を通して、できるようになること、できたことに喜び、自信をもって演技の練習に取り組んでいる。
	③	B	誕生日会ではそれぞれの誕生を祝い、七夕では笹飾りづくりや短冊に願い事を書くなど、それぞれの行事の意味を知り、自分の表現を楽しむ姿がある。
(5)	①	B	保護者の希望を聞き取り、安全に預かれる環境を準備している。
	②	B	保幼小連絡協議会では、小学校から幼稚園の様子が分かりやすいとの評価を得た。
	③	A	関係諸機関と連携し、行動観察やカンファレンスを定期的実施し、日常的な保育に生かされている。
(6)	①	A	検温を軸とした健康観察は定着しており、コロナウイルス感染拡大防止につながっている。
	②	A	学期ごとに幼稚園の感染防止対策や状況を、「もしもの時には」という手紙によって事前に周知徹底して、保護者の理解と協力を獲得している。
	③	A	日々、清掃と消毒の実施、消毒グッズの洗濯など徹底して実施している。チェックシートによる確認も実施されている。
(7)	①	B	研修会に参加した教員による還元研修で、全教職員がスキルアップに努めている。
	②	A	制作の方法や材料を共有することで、保育方法のスキルアップにつながっている。
	③	B	長期休業中の研修は時間をかけた教材準備や教材づくりに生かされている。

#### 4. 令和2年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染対策は、教職員が消毒・清掃を徹底すると同時に、保護者に丁寧に説明し周知することで一定の成果を得ている。しかしながら、変異株が次々と確認されていること、感染者数によって緊急事態宣言が繰り返されていること等から、今後も確実な対応が必要である。</li> <li>・各行事は、感染対策を徹底しながら、豊かな情操教育を推進するために、学年別での実施、クラスごとでの実施、延期、止む無く中止等決定した。実施する上では、文部科学省ガイダンス、中野区・保健所のガイダンス等を常に参考とし、園児の安全・感染防止を徹底してきた。一方でウイルス感染状況は変異株の出現とともに時々刻々変化しており、コロナ禍にあっても豊かな情操教育が一層推進されるよう、各行事の実施方法を今後も全教職員で工夫していく必要がある。</li> <li>・コロナ禍にあり、各種研修会には人数制限があり、外部での研修を全教職員が受講することに困難がある。このため、園内での還元研修や、カリキュラム会議による園内研修の一層の充実を図ってきた。今後も教員同士が相互に研修できるように時間と場の設定の工夫をしていく必要がある。</li> </ul>

#### 5. 令和3年度に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
新型コロナウイルス感染拡大防止	現在取り組んでいる拡大防止対策を継続する。保護者懇談会などで、今後も保護者の協力が必要であることを、各学期初め、及び社会状況に応じて随時発信していく。
情操教育推進のため各種行事の効果的な実施	新型コロナウイルス感染防止を徹底しつつ、豊かな表現活動が出来るよう、さらに、保育の中で子供たちが楽しんで様々な力を高めていかれるよう、各学年で計画準備を進める。
人材育成	保育者の質の向上を目指して、今後も園内で行事に合わせた研修を実施していく。